

学校をよくするために

生徒の皆さんを対象に、「教育活動に関するアンケート」を実施しました。同じようなアンケートを保護者と先生方にも実施しています。このアンケートは、今よりも学校をよくするために毎年行っているものです。先生方だけでなく、生徒と保護者から様々な意見や要望を出してもらうことで、来年度の教育活動に生かしていこうと考えています。アンケートには、23の質問項目がありました。これらは、毎年、同じ内容にしてあります。したがって、昨年度や一昨年度と比較することができます。

今回の結果を見てみると、一番結果がよかったのは、「道徳の時間は、生き方を学ぶ大切な時間であると思う。」という質問でした。次が、「時間や服装等のきまりをしっかりと守って生活している。」です。3番目が、「授業の『学習課題』と『まとめ』をしっかりと理解している。」でした。この3つは、昨年度もよい結果でした。継続できているということです。

一方、「積極的に読書をしている。」「将来に向けた進路の学習に取り組んでいる。」は、まだまだ不十分なようです。読書の大切さはわかっている、学校での朝の読書以外に、自分から進んで読書をするというのが、なかなかできないのかもしれませんが。高校入試のことは、頭にあっても、将来、自分がどんな道に進むのか、世の中には、どんな職業があるのか、自分には、どんなことが向いているのかなどについて、もっと時間をかける必要があるのかもしれません。

自由記述を見てみます。「野田中学校のよい点・特色」では、「挨拶（あいさつ）」と「凡事徹底」という言葉がたくさん出てきます。これは、野田中学校の伝統とも言えるものです。アンケート結果の「時間や服装等のきまりをしっかりと守って生活している。」と大きく関係していると思われます。

各学年ごとの記述を見ると、参考になることがあります。「校則」に関する内容もありました。一般的には、校則と言っていますが、野田中学校でいうと「生徒心得」になります。

校則は、何のために設（もう）けたきまりであるのか、その背景（はいけい）や理由を理解することが大切です。生徒の皆さんが、自分事として、その意味を理解して自主的に守るようにしていかなければなりません。これから、生徒会での話し合いなどを通して、生徒一人一人が、自分の学校の校則について考えていけるようにしたいと思います。